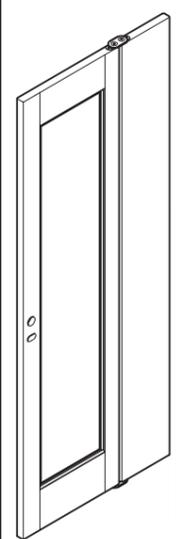
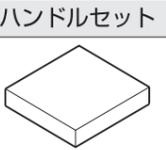
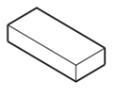
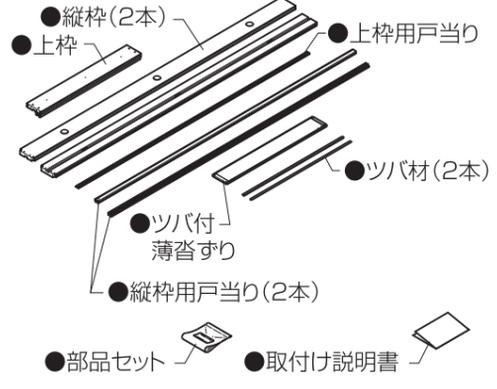
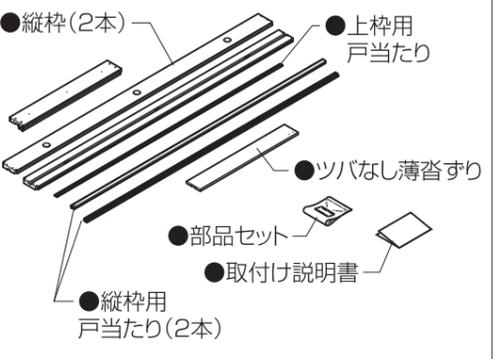
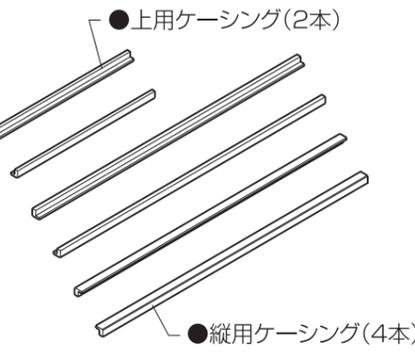


●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

### ■取付け上のお願ひ

- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
  - 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤(現場手配)を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤(現場手配)を塗布してください。
  - かい木には、合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
  - 本製品のねじ締め付け時には、クラッチ付きドライバーの弱で締め付けてください。締め付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
  - 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
  - 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
  - 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
  - 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
  - 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には、すき間をつくり、かい木を入れてください。
  - 上枠とまぐさのすき間には、必ずかい木を入れてください。
  - 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
  - ドアストッパーを壁に取付ける場合は、補強材が入っていることを確認してください。
- ※建築工事中は、ドア本体を養生・保全のため取外しておき、施工完了後に吊込むことをおすすめします。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。

### ■部品・部材の明細

ドア本体	ツバ付4方枠	ツバなし4方枠	ケーシングセット(ケーシングタイプのみ)
 ハンドルセット  錠セット 	 <ul style="list-style-type: none"> <li>●縦枠(2本)</li> <li>●上枠</li> <li>●上枠用戸当たり</li> <li>●ツバ材(2本)</li> <li>●ツバ付薄沓すり</li> <li>●縦枠用戸当たり(2本)</li> <li>●部品セット</li> <li>●取付け説明書</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>●縦枠(2本)</li> <li>●上枠用戸当たり</li> <li>●ツバなし薄沓すり</li> <li>●部品セット</li> <li>●取付け説明書</li> <li>●縦枠用戸当たり(2本)</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>●上用ケーシング(2本)</li> <li>●縦用ケーシング(4本)</li> </ul>

### ■枠セット明細

	ツバ付4方枠	ツバなし4方枠
縦 枠	2	2
上 枠	1	1
戸当たり	縦2・上1	縦2・上1
薄沓すり	1	1
ツバ材	-	2

### ■ケーシングセット明細

上用ケーシング	2
縦用ケーシング	4

### ■ハンドルセット明細

ハンドルセット	1組
台座セット	1組
ハンドル固定ねじ	1本

### ■錠セット明細

錠座セット	1組
-------	----

■ 部品セット 標準ドア・トイレドア用《枠用部品セット》

下ピボット  1	皿タッピンねじ φ4×16  (下ピボット取付用)	皿小ねじ M4×50  (枠組立て用)
トラストタッピンねじ φ4×25  (薄沓すり取付け用)	ナベタッピンねじ φ4×40  (縦枠躯体取付け用)	DNビス(皿木ねじ) φ3.8×50  (上枠躯体取付け用)
スパナ  1	※予備用 4 本含む。	

■ 開口部の確認

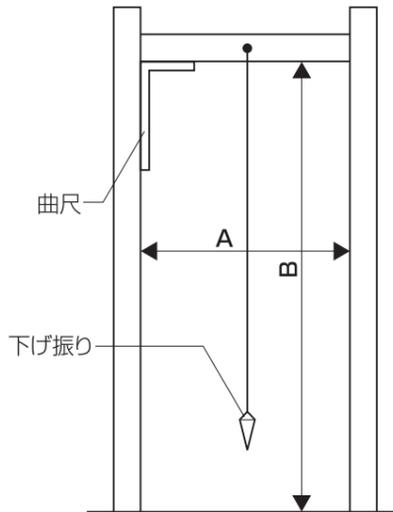
※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

開口寸法 A	製品寸法 W + 5mm
開口寸法 B	製品寸法 H + 床厚 + 5mm

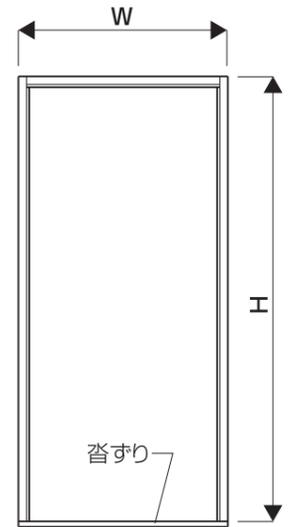
■ 取付け範囲(単位:mm)

	ケーシングタイプ		木造用ノンケーシングタイプ		
	薄壁用	厚壁用	NC156	NC171	NC180
対象壁厚	111 ~ 141	142 ~ 182	116 ~ 130	131 ~ 145	146 ~ 160

● 開口寸法



● 製品寸法

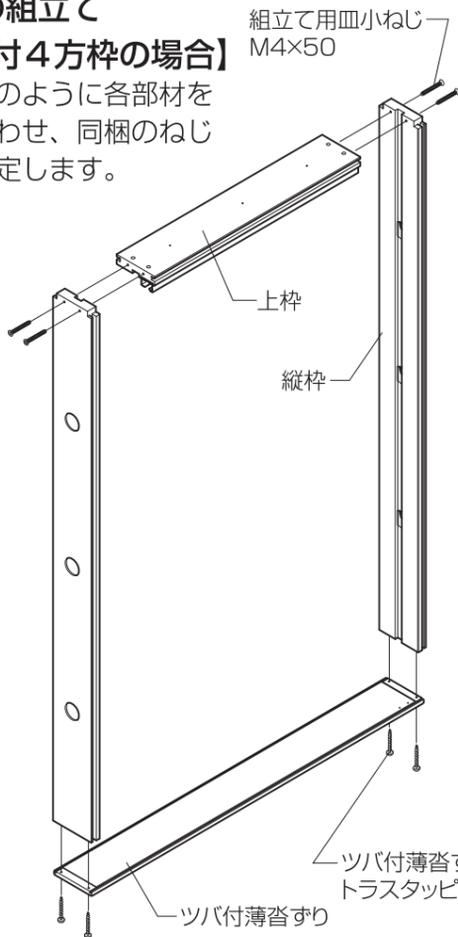


■ 取付け手順

1 枠の組立て

【ツバ付4方枠の場合】

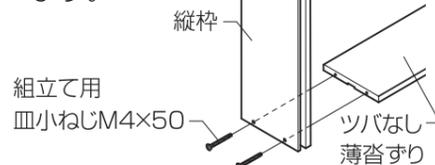
①下図のように各部材を組合わせ、同梱のねじで固定します。



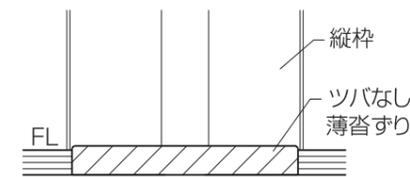
【ツバなし4方枠の場合】

※縦枠と上枠の組立ては、ツバ付4方枠の場合の記載を確認してください。

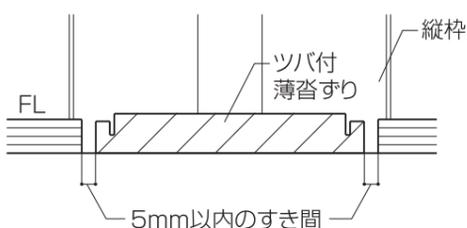
①下図のように各部材を組合わせ、同梱のねじで固定します。



②枠の取り付け後、下図のように縦枠・ツバなし薄沓すりにそって床材を張ってください。



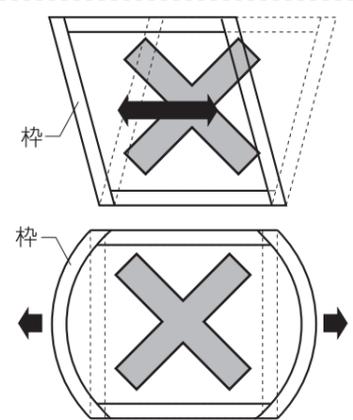
②枠の取り付け後、下図のように床材を張ってください。



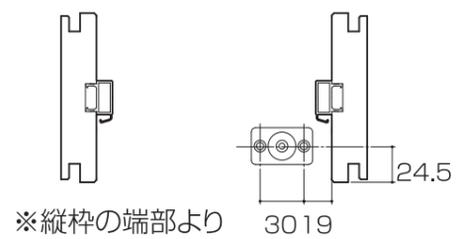
お願い  
※床材とツバ付薄沓すりのすき間は5mm以内にしてください。ただし、キャスターや車いすなどの荷重がかかる場合は、すき間をあけないでください。

お願い  
※組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締め込んでください。

お願い  
※枠組立て後、揺らす・引張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因になります。  
※ねじは、たたき込まないようにしてください。保持力低下の原因となります。



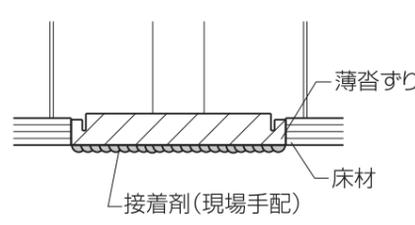
●薄沓すりなしで納める場合は、縦枠をツバ付4方枠の場合は2mm、ツバなし4方枠の場合は12mm切断し下ピボットを指示の位置に固定してください。



■ 躯体への取付け方

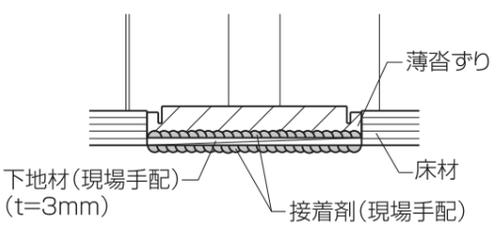
● 床材厚さ12mm

※必ず薄沓すりに接着剤(現場手配)を付け、躯体に固定してください。



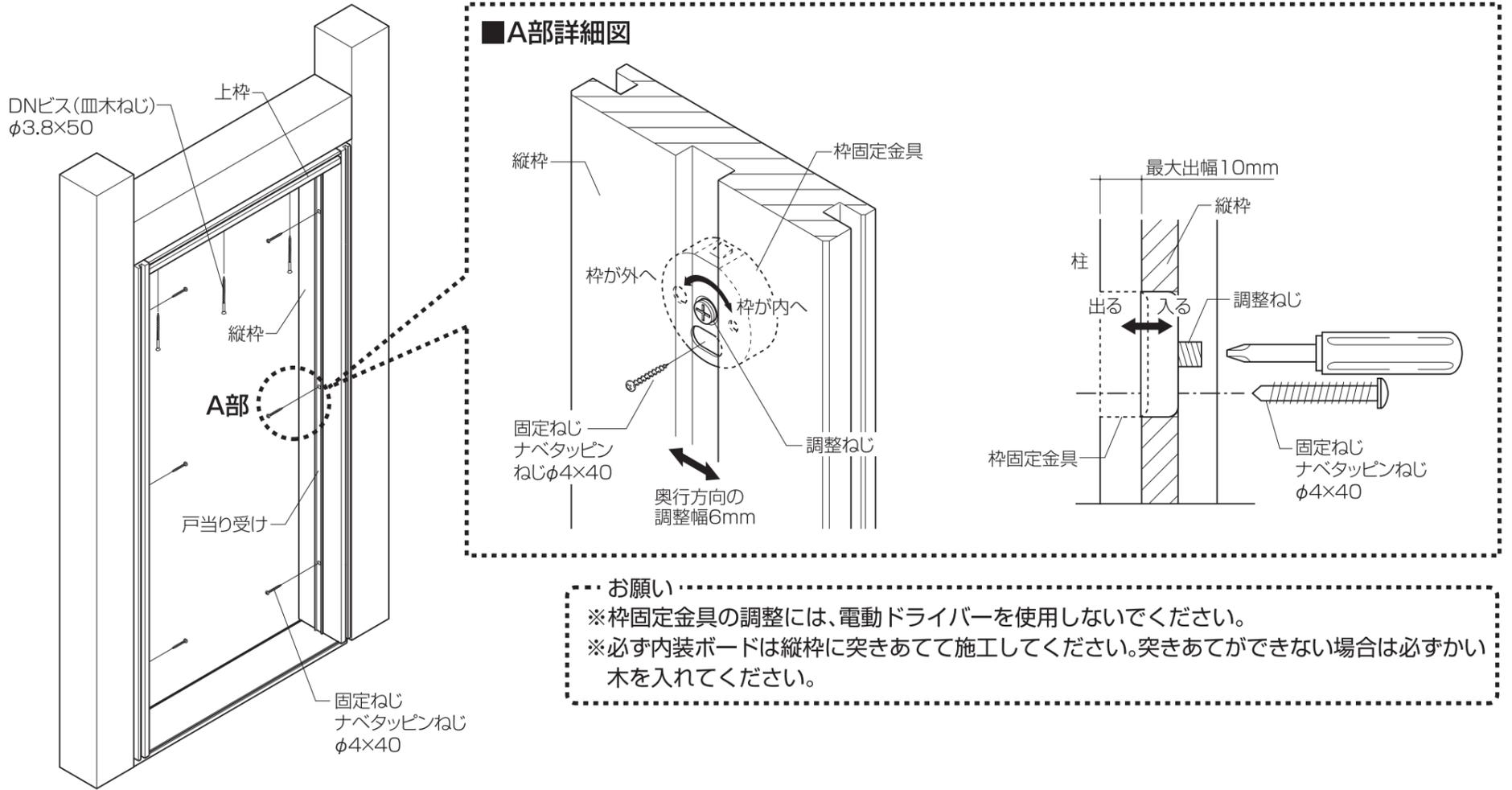
● 床材厚さ15mm

※必ず薄沓すりと下地材に接着剤(現場手配)を付け、躯体に固定してください。



## 2 枠の取付け

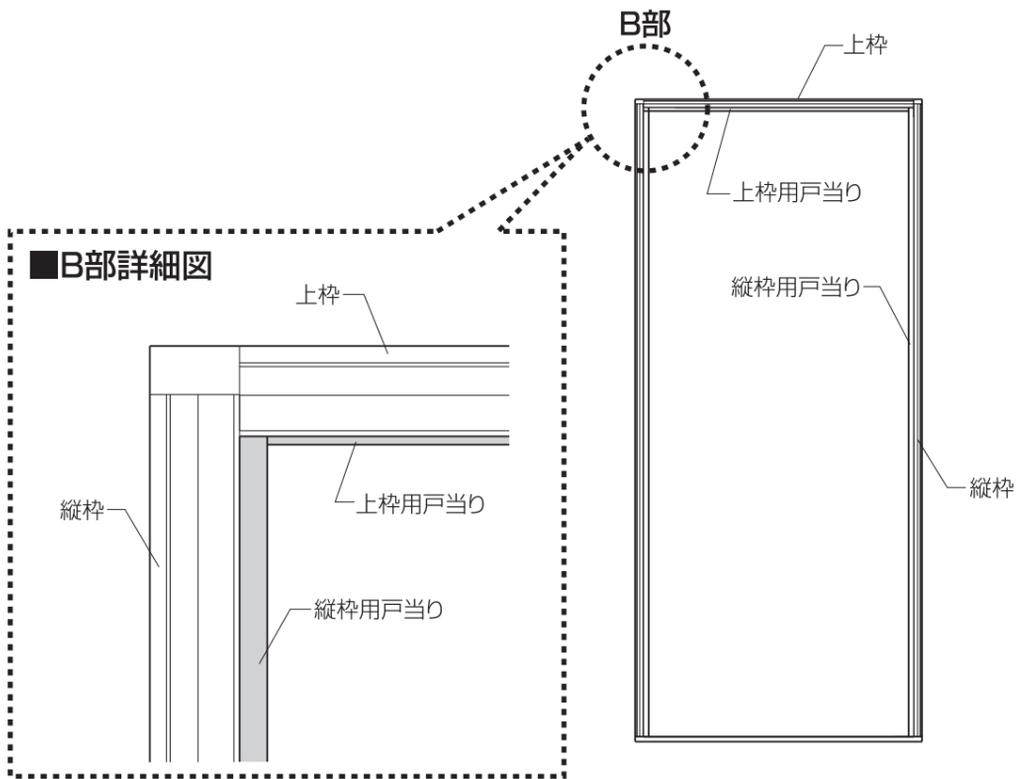
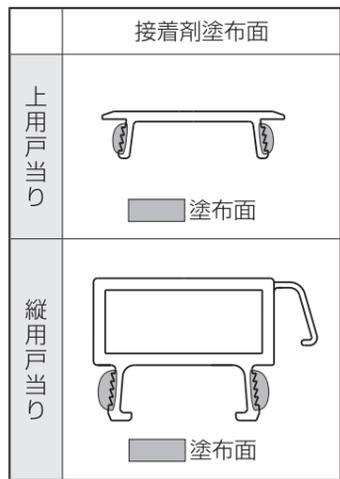
- ①縦枠に取付けられている枠固定金具(縦枠に3個取付け)の調整ねじを時計回りに回し、金具を均等に出してください。
  - ②枠の垂直を確認してください。
  - ③固定ねじ(ナベタッピンねじφ4×40)を枠固定金具の長穴中央部分より締め付けてください。
  - ④枠の奥行方向の倒れを確認してください。倒れている場合は、固定ねじをゆるめ枠を動かします。(奥行方向の調整幅は6mmです。)調整後、ねじを固定してください。
  - ⑤枠の垂直を確認してから、開口寸法(W方向)を確認してください。開口寸法が大きい場合は調整ねじを時計回りに回し、小さい場合は反時計回りに回して枠を調整してください。(左右の調整範囲は片側で10mmです。)
  - ⑥再度、枠の垂直を確認してください。
  - ⑦上枠はかい木を入れてDNビス(皿木ねじ)φ3.8×50で固定してください。
- ※縦枠の固定個所を増やしたい場合は、予備の上枠取付け用DNビス(皿木ねじφ3.8×50)で固定してください。



## 3 戸当りの取付け

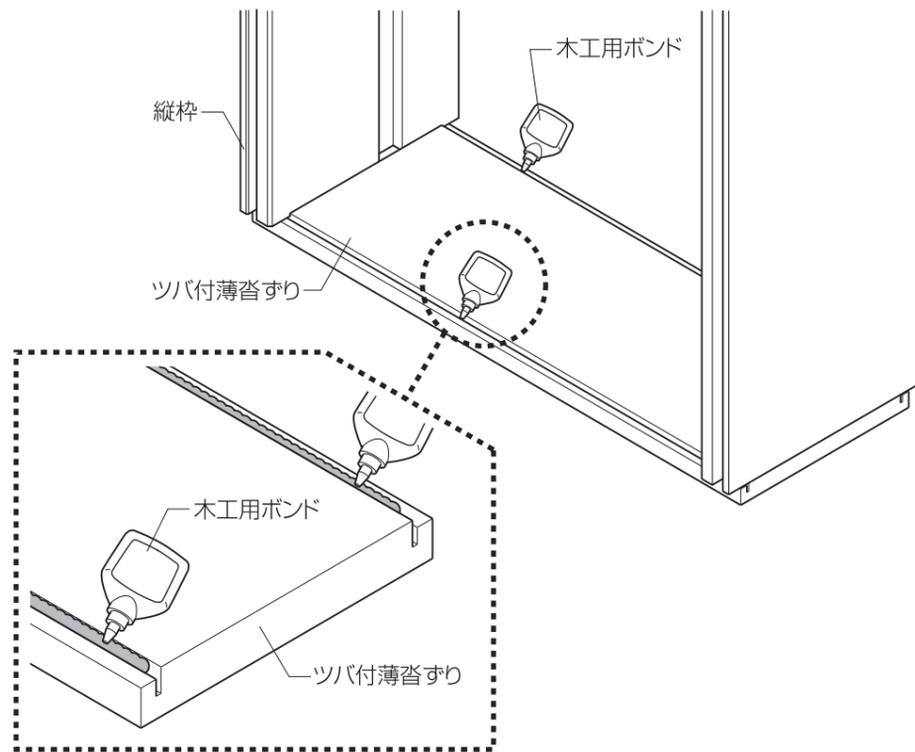
- ①現場で戸当りの寸法を合わせて切断してください。
  - ②戸当りの足の外側(リップのある面)に接着剤(現場手配)をつけ、固定してください(塗布面は下図参照)。
- 接着剤(現場手配)がはみ出した場合は、必ずふきとってください。
- ※縦枠用→上枠用の順に取付けてください。

※ハンマーなどで直接たたき込まないでください。



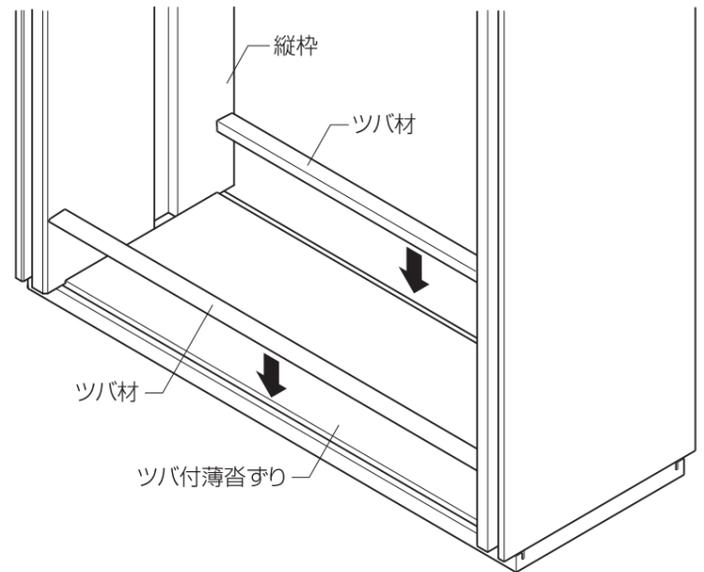
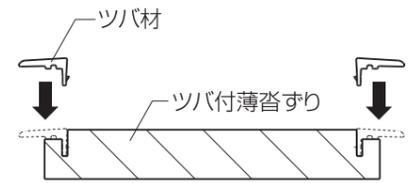
#### 4 ツバ材の取付け(ツバ付薄沓すりを使用する場合のみ)

- ①現場でツバ材の寸法を開口に合わせて切断してください。
- ②ツバ付薄沓すりの溝に木工用ボンド(現場手配)をつけてください。



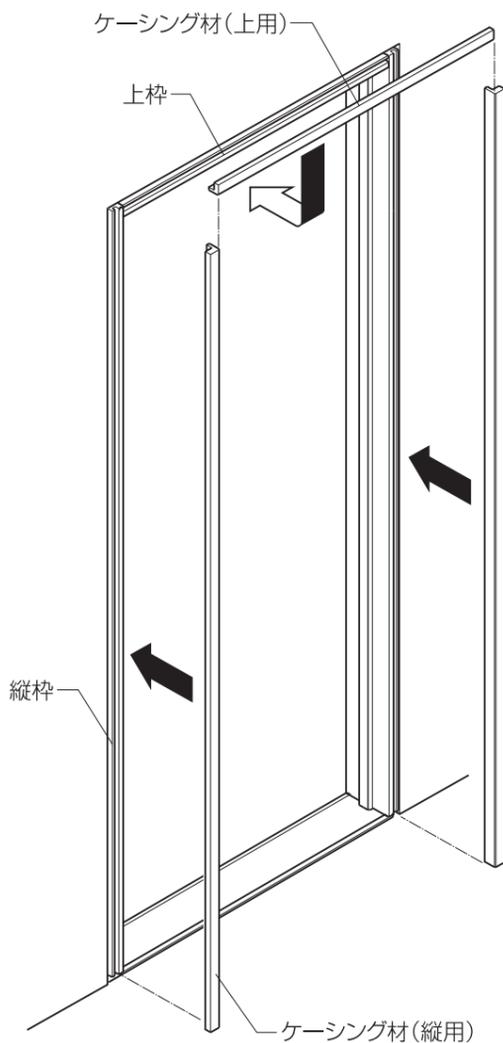
- ③ツバ材を溝に手ではめこんでください。

お願い  
※ハンマーなどで強くたたき込まないでください。



#### 5 ケーシング材の取付け(ケーシングタイプのみ)

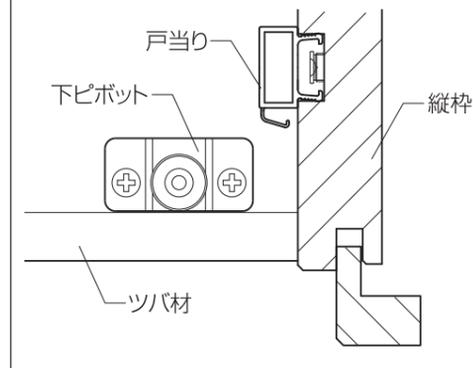
- ※壁材・床材を仕上げたからケーシング材を取付けてください。
- ①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。(上ケーシングは枠に合わせてあらかじめカットしてあります。)
  - ②枠のケーシング溝へケーシング材を差込みます。
  - ③ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、ケーシング材を固定します。
- ※仮止めする場合は、専用かくし釘をご使用ください。



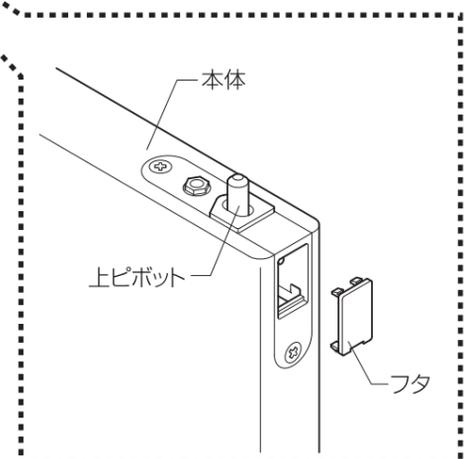
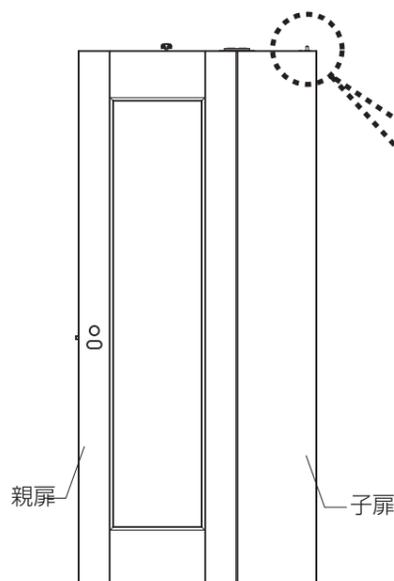
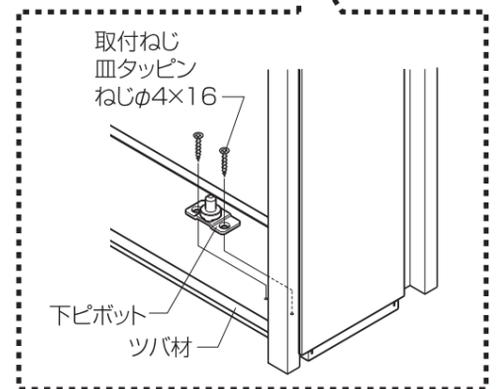
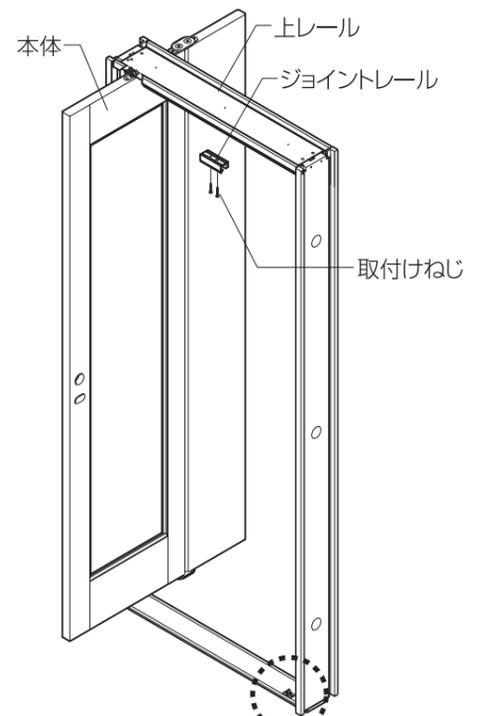
#### 6 本体の吊込み

- ①薄沓すりに下ピボットを固定します。
- ※ツバ付 4 方枠の場合には下ピボットは向きに注意して取付けてください。(下図参照)

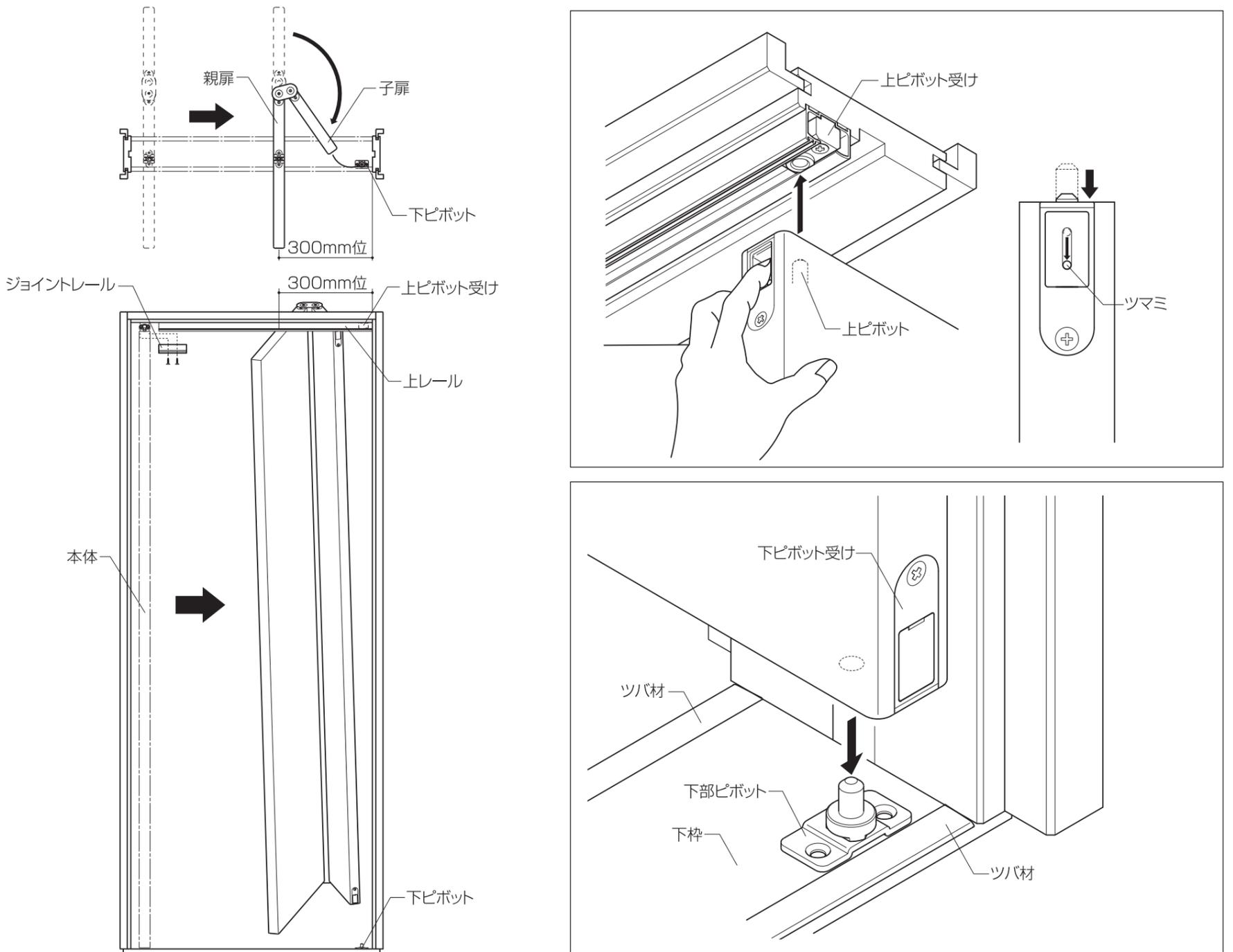
##### ■下ピボットの取付け向き



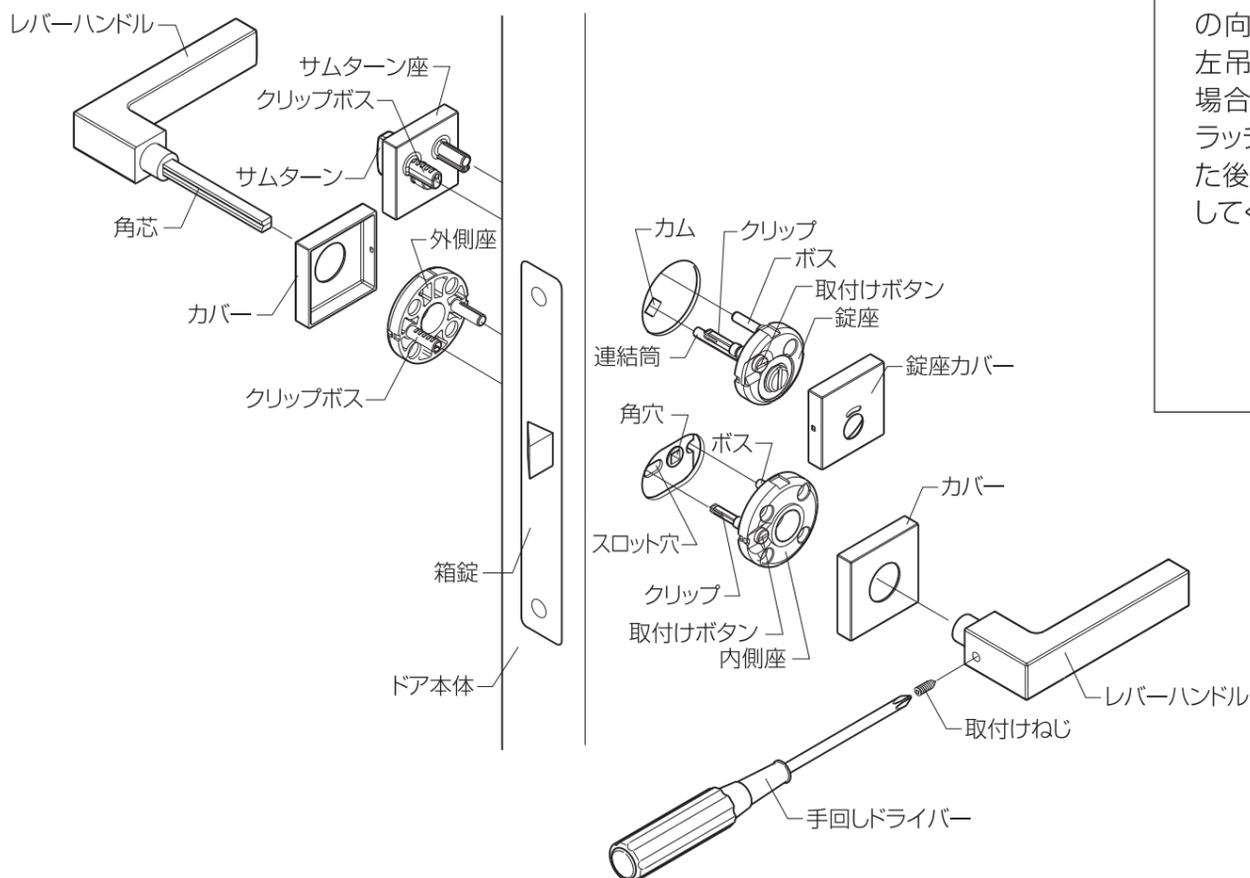
- ②上ピボットのフタを、マイナスドライバーなどではずしてください。
- ③ジョイントレールを固定しているねじをゆるめて、ジョイントレールを外してください。(取外したねじは再度使用しますので、なくさないように注意してください。)



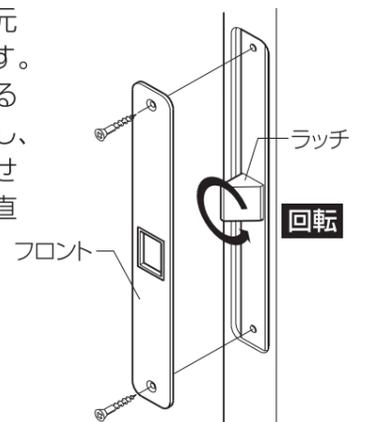
- ④ 本体を開いた状態で上枠と 90°にしてレールの端部より、本体を吊込みます。(吊車をレールと平行にしておいてください。)
- ⑤ 吊元側の縦枠から吊車が 300mm 位にきた所で、子扉を折りはじめて扉を斜めに持ち上げながら下部ピボットに本体の受けに入れ込んでください。(子扉は完全に折りきらないようにしてください。)
- ⑥ 上ピボット内のつまみを下げてください。(軸も下がります。)レール内のピボット受けに軸を入れてください。
- ⑦ ジョイントレールを固定して、上ピボットのフタをはめ込んでください。



## 7 把手の取付け

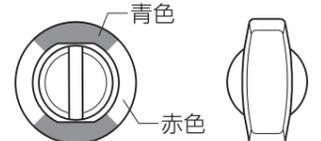


※箱錠のラッチは、右吊元の向きになっています。左吊元として使用する場合は、フロントを外し、ラッチを180°回転させた後、フロントを付け直してください。



### ■表示筒とサムターンの向き

- 表示筒
- サムターン

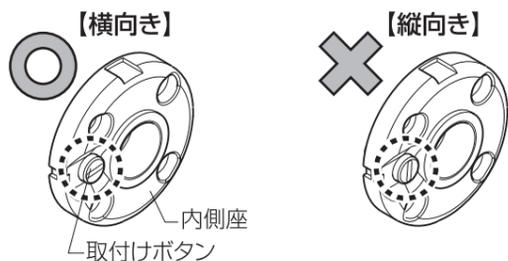


解錠時…縦 (■: 青色)  
施錠時…横 (□: 赤色)

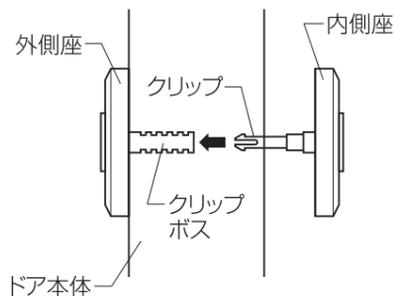
※表示錠の場合はサムターンと表示筒の溝の向きを上図のように合わせてください。

## 【ハンドルの取付け】

- ①外側座を箱錠のスロット穴に差込んでください。
- ②内側座の取付けボタンが横向きになっていることを確認してください。



- ③内側座のクリップを外側座のクリップボスに合わせて差込んでください。



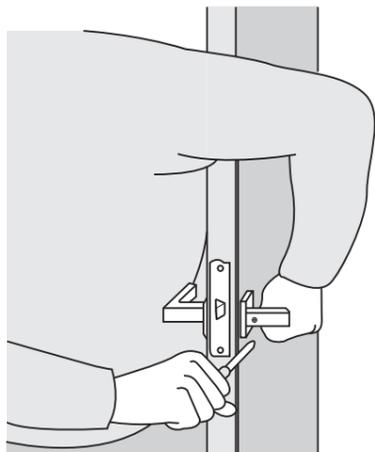
お願い  
※クリップとクリップボス(穴があるボス)穴の中心位置を合わせてください。位置が悪いと差込むことができず、クリップが破損するおそれがあります。

- ④取付けボタンを指で押込んでください。
- ⑤カバーを時計回りにまわして座に取付けてください。



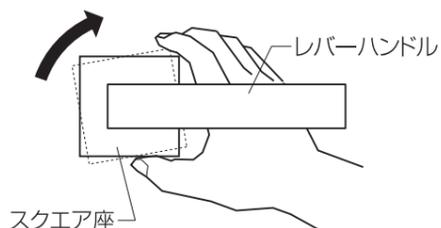
- ⑥両側のレバーハンドルを箱錠の角穴に差込んでください。
- ⑦レバーハンドルの両側よりハンドル軸部を手と腰で押付けながら、止めねじで固定してください。

お願い  
※必ず手回しドライバーでねじ固定してください。



お願い  
※必ず両側からレバーハンドルを押付けながら、ねじ固定してください。押付けないとレバーの前後ガタツキの原因となります。

- ⑧座の位置(中心度)、姿勢(水平度)を手で修正してください。  
※座はバネの力により両側の座でドア本体をはさみ込んでいます。



- 水平にする(スクエア座の場合のみ)
- レバーハンドルと座の中心を合わせる

## 【錠座の取付け】

- ①サムターン座を先に切欠穴に差込みます。
- ②錠座の取付けボタンの溝が横向きにセットされていることを確認します。
- ③錠座の連結筒を箱錠のカムに差込み、錠座のクリップをサムターン座のクリップボスに合わせて差込んでください。

お願い  
※クリップとクリップボス(穴があるボス)穴の中心位置を合わせてください。位置が悪いと差込むことができず、クリップが破損するおそれがあります。

- ④取付けボタンを指で押込んでください。



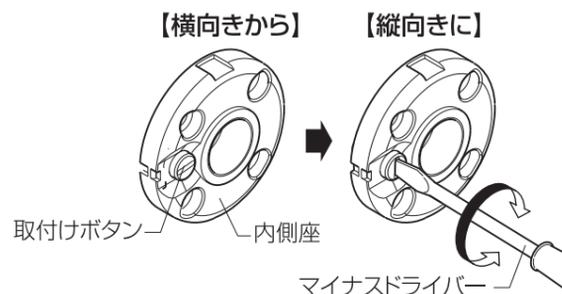
- ⑤サムターンを回して、正確にスムーズに施・解錠操作が行えることを確認します。
- ⑥錠座カバーを錠座にはめ込んで取付けてください。  
※ハンドルと違い錠座カバーはまわさないでください。

## 【ハンドルの取外し】

- ①取付けねじを外して、レバーハンドルを外してください。
- ②カバーを反時計回りにまわして外してください。



- ③内側座の取付けボタンの溝にマイナスドライバーの先端を差込んで、溝を縦向きに回転させてください。



- ④両側の座を外してください。

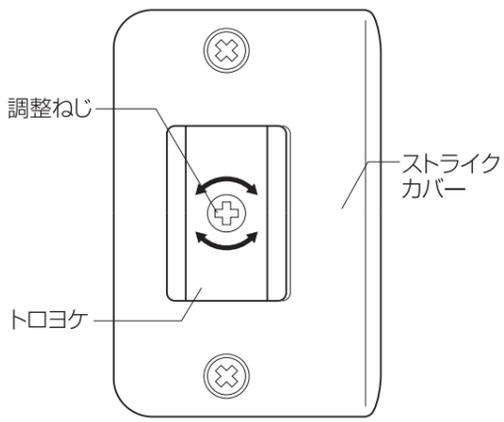
## 【錠座の取外し】

- ①表示筒を指で押さえながら外カバー側面の切欠き部にマイナスドライバーを差込んで外カバーを外してください。
- ②マイナスドライバーで取付ボタンを押しながら縦方向になるように回転させて座をゆっくりと取外してください。

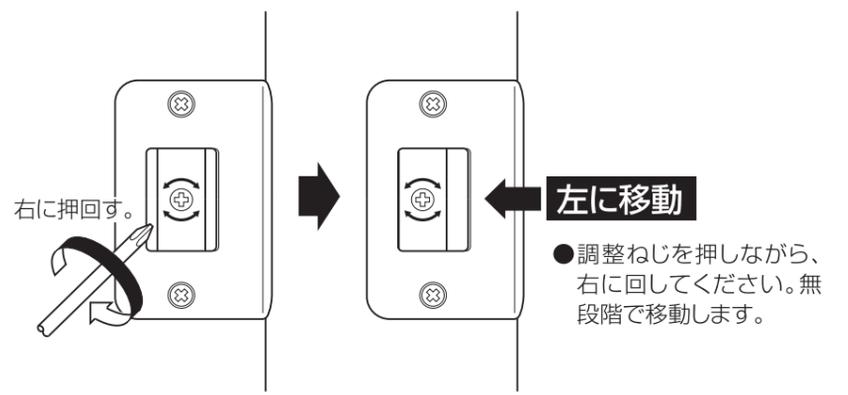
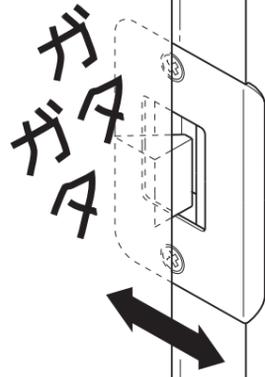


- ※無理やり外さないでください。  
嵌合が緩くなるおそれがあります。

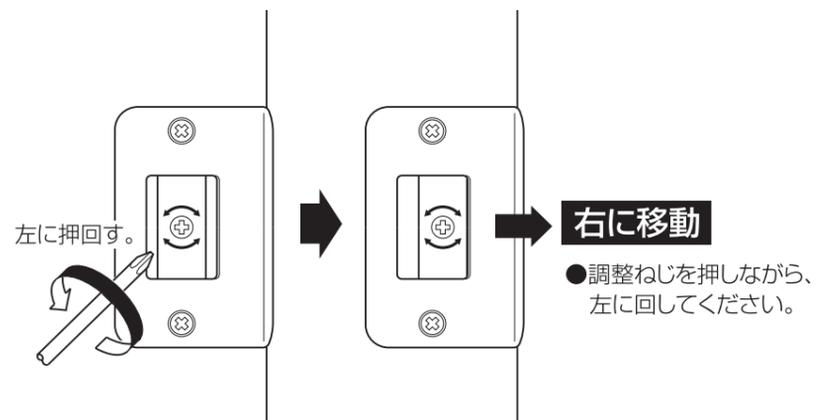
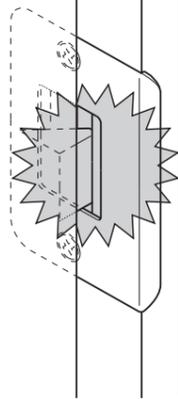
■建付け調整(ストライクによる調整)



■ラッチがストライクの中でガタつく



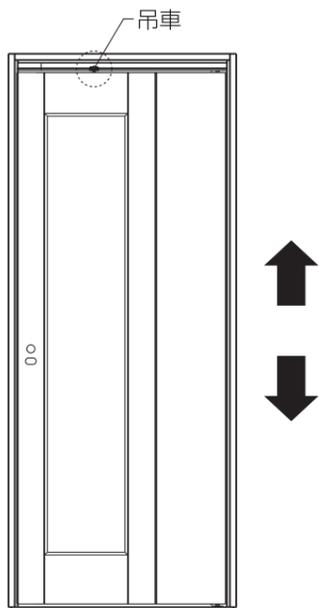
■ラッチがかからない



■建付け調整(吊車およびピボットによる調整)

上下調整

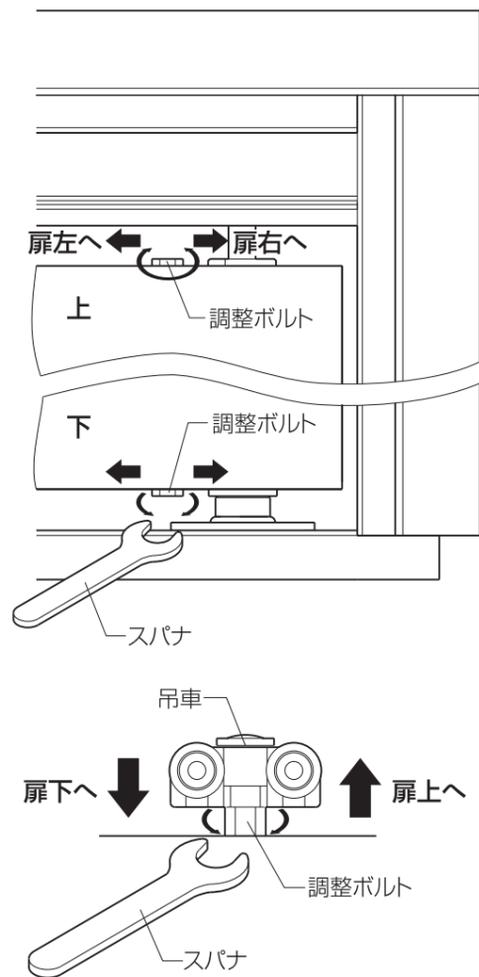
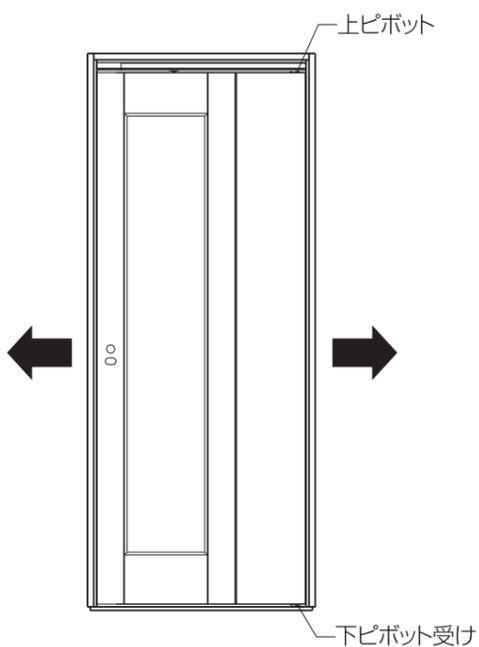
- 吊車で調整します。調整幅は±3mmです。
- 付属のスパナで時計回りに回すと扉が上がり、反時計回りで扉が下がります。



左右調整

- 上・下ピボットで調整します。調整幅は±2.5mmです。
- 付属のスパナで上下ピボットの調整ボルトを回して調整します。

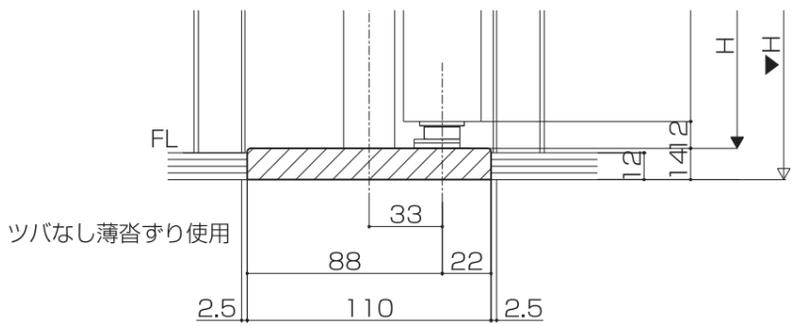
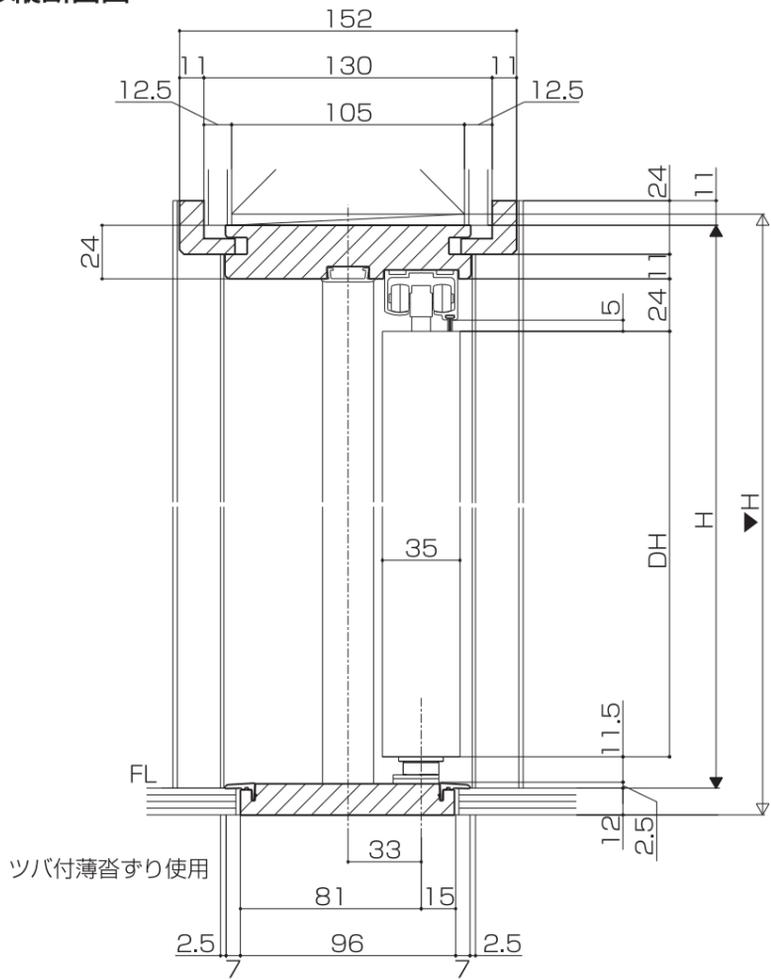
	扉を左へ	扉を右へ
上ピボット	時計回り	反時計回り
下ピボット	反時計回り	時計回り



■納まり図

■中折れドアユニット ケーシング付

●縦断面図



	呼称	a 寸法	b 寸法	出寸法 c
標準ドア	W07	484	238.5	250.5
トイレドア	W06	393	197.5	200.5

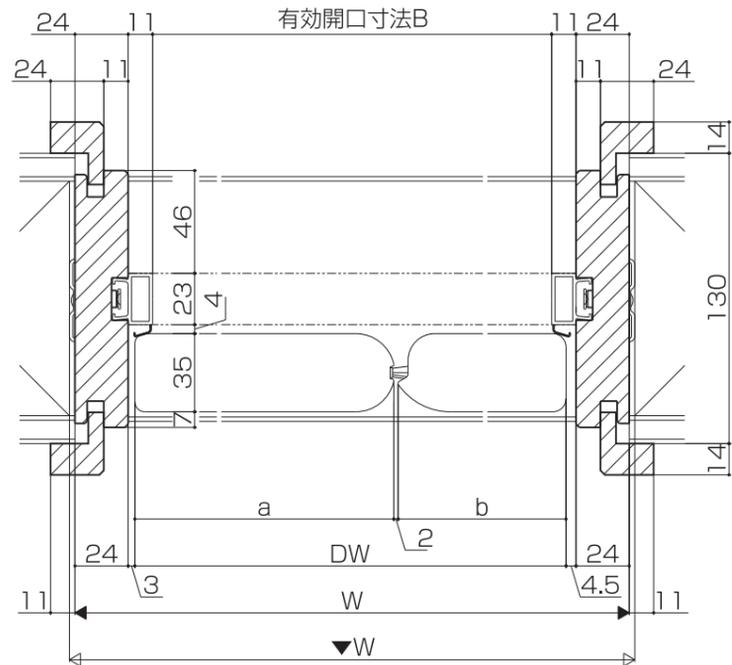
■中折れ 標準ドア

W呼称(枠外寸法)	A 寸法	B 寸法
W07(780)	631.5	710

■中折れ トイレドア

W呼称(枠外寸法)	A 寸法	B 寸法
W06(648)	499.5	578

●横断面図(閉)



●横断面図(開)

